

平成 25 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業内容

事業名	朝日村大博覧会 ～まるごと朝日じかん～
事業主体 (連絡先)	朝日村商工会 (朝日村大博覧会実行委員会)
事業区分	(6)オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業 (8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,540,902 円 (うち支援金：907,000 円)

【「食」をテーマとした博覧会の実施】

- ① 「むら弁」(朝日村弁当) の開発
- ② 「家ご飯コンテスト」の実施
- ③ 朝日村漬物コンテストの実施
- ④ 世界の料理レシピの紹介
- ⑤ ランチバイキングの実施

【間伐材の利用促進】

- ① 間伐材を利用した「むら弁」用弁当箱を
218 個製作
- ② 間伐材を利用した箸の作成
- ③ 環境に配慮した空き缶利用のロケットストーブ
等の展示

【村産業の紹介】

- ① 朝日村産業フェアコーナー
- ② サラダの絵本「きらきらレタス」の紹介、活用
- ③ 展示ブース 30 箇所をめぐるスタンプラリーの実施
- ④ 小中学生の「朝日村」についての絵画、朝日村の
繭生産の歴史と繭のお守り製作品展示



※ 1 自己評価 (事業実施率) 【 B 】

【目標・ねらい】

- 地域に活力を与え、産業の振興を図る事
- 村全体、地域全体でひとつになり、村を元気にすること
- 子供たちが地域の仕事に興味を持ち、大人も原点に立ち返り自分の職業に誇りを持ち、仕事を絡めた楽しみ方ができるイベント

事業効果

- ・村内の食材を使用することにより、他地域への PR を図るとともに、地域を見直し、地域への愛着心が醸成できたと思います。
- ・これらを通じて商工会員の連帯感のみならず、村民の連帯強化の繋がったと思います。
- ・「むら弁」の試作品は、間伐材のみならず、樹齢 40 年を超える唐松の利用促進方法の一助となり、端材の有効活用として期待できる。
- ・村内企業の PR と、将来的な雇用の場としてのアピールができる場となった。
- ・朝日村小学校の 2～4 年生の作品が展示され、今後の朝日村を担う世代への関心度のアップも図られた。

※ 2 自己評価 (事業効果) 【 A 】

今後の取り組み

- ・当初目的にあげた、継続性のあるイベントとして、今後も取り組んでいくことが実行委員会で確認され、新実行委員会の発足を行うことが決定した。
- ・「むら弁」を今後どのような形で継続するか検討することとなった。
- ・商工会、JA 松本ハイランド、行政、各種団体が協力し合う体制を構築、維持することも課題としてあげられた。

※ 1 自己評価 (事業実施率) 欄は、「A」90%以上、「B」70～89%、「C」50～69%、「D」49%以下で示すこと。

※ 2 自己評価 (事業効果) 欄は、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある